

YASKAWA NEWS

No. 338
SUMMER 2022

YASKAWA NEWSは
お客様と安川電機を結ぶPR情報誌です。

特集
p2

展示会出展レポート

「第6回スマート工場EXPO」

「IIFES 2022」

「2022国際ロボット展」

「2022中部パック」

p9 新製品
MOTOMAN-HC10SDTPを発売
エコPMモータ フラットタイプを発売

p11 トピックス
本社棟4階エレベーターホールをリニューアル
MECHATROLINK協会の活動紹介

p13 展示会
「FOOMA JAPAN 2022」出展案内
「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022」出展案内
「2022国際ウエルディングショー」出展案内

p15 コラム
陸上部NEWS

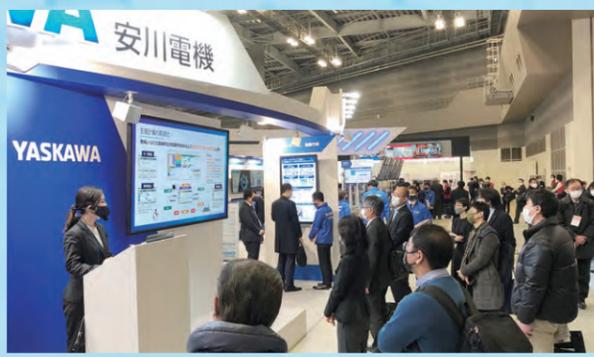
展示会出展レポート

第6回 スマート工場 EXPO IoT/AI/FAによる 製造革新展

第6回 スマート工場EXPO
2022年1月19日(水)～21日(金)
会場/東京ビッグサイト 東7ホール
主催/ RX Japan 株式会社
ホームページ/ <https://www.sma-fac.jp>

1月19日(水)～21日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催された「第6回スマート工場EXPO」に出展しました。当社ブースでは、「i³-Mechatronics」コンセプトのもとスマートファクトリー実現のためのFA×デジタルデータソリューションを当社工場での取り組み事例や、パートナー企業との共創事例などを交えてご紹介しました。コロナ禍ではあったものの、約4,000人のお客様に当社ブースにお越しいただくことができました。展示会場では、データ活用やロボット導入などに関心の高いお客様と直接じっくりお話できる機会となり、リアル展の良さを改めて実感しました。ご来場いただきました皆様には御礼申し上げます。

また、2022年1月19日(水)～31日(月)には、当社独自のオンライン展を実施しました。コロナ禍で出張が難しいお客様や展示会場で関心を持ってくださったお客様にお越しいただくことができ、リアルとオンラインのハイブリッドでの



セミナーの様子

開催を実現することができました。オンライン展でのアンケートでは、「各FA製品からデータを取得し分析につなげられることが、安川電機のユニークポイント」といった満足度の高いコメントを多数いただきました。



メイン展示 生産セルを再現したデモ機が、皆様の課題解決のヒントに!

本展示会のメインとして、配膳、加工、研磨、検査の工程からなるセルを再現したデモ機を展示しました。デモ機には、セル内のデータを高速かつリアルタイムそして時系列に同期し、統合的に制御する「YRM-Xコントローラ」を適用し、YASKAWA Cockpit(以下 YCP)と連携させることでデータ活用のイメージをお客様に持っていただくことができました。また「i³-Mechatronics」コンセプトに基づく生産現場のデータの見える化・活用事例として、安川ソリューションファクトリーやインバータ工場での取り組み内容を動画にてご紹介しました。生産現場全体に対するデータ活用だけでなく、製品単体から始めることができるデータ活用のご紹介として、サーボやインバータ、ロボットにおけるデータ活用もPRしました。



生産セルを再現したメイン展示デモ機



当社工場での事例紹介動画やYCP画面

工場DXを支えるデータ分析 ～工場のIoT化とAI活用事例～ 共同出展企業:(株)アイキューブデジタル

スマート工場、工場DXを始めるのに欠かせないデータ分析基盤。工場内に点在する設備や装置の稼働情報、人の作業情報をどのように収集し見える化するのか、画面を用いて解説しました。また工場内におけるAIの活用事例として、外観検査のデモ機を展示しました。



製造現場のデータ活用の展示

FA/ITパートナー企業との共創

i³-Mechatronicsの普及を目的とするパートナーシップ会「i³-Mechatronics CLUB」の企業様との共創事例を展示しました。各エンジニアリング階層の企業様が相互の技術・ソリューションを生かしあうことによって、それぞれのお客様の経営課題の解決を目指したソリューションをご紹介しました。



パートナー企業との共創展示

お問い合わせ先: 営業本部 CRM戦略推進室 TEL: 03-5402-4523 FAX: 03-5402-4554

展示会出展レポート



IIFES 2022

2022年1月26日(水)～28日(金)

会場/東京ビッグサイト 西1・2・4ホール

主催/日本電機工業会、日本電気制御機器工業会、
日本電気計測器工業会

ホームページ/https://iifes.jp

隔年で開催される「IIFES2022」に、安川電機の共通メインテーマ「i³-Mechatronicsによるスマートなものづくりの実現」を掲げ出展しました。

今回はコロナ禍ということもあり、リアル展示会 [1月26日(水)～28日(金)東京ビッグサイトで開催] とオンライン展示会 [1月26日(水)～2月25日(金)] を組み合わせたハイブリッド展示会として開催され、当社は生産管理者、開発・設計・品質

管理者、保守管理者の皆様に向け、現場に一步踏み込んだ具体的なソリューションをご提案しました。コンセプトデモ機と、「生産性向上」「設備を止めないデータ活用」および「省エネ&省力化」の三つの展示コーナーを準備し、お客様が抱える課題を解決するソリューションをご提案しました。

今後も、ものづくりにおける課題解決のため、お客様に様々なご提案をまいります。

生産性向上

装置性能を向上させるコントローラ、サーボドライブ、インバータ等をご紹介しました。



YRM-X: セル生産に最適な柔軟性と拡張性を実現



Σ-Xシリーズ: 世界最高クラスの制御性能とデータソリューション



GA500: センシング機能による異常予兆検知をご提案



Σ-Xシリーズ: データソリューションと高精度な同期制御を両立

設備を止めないデータ活用

サーボやインバータによるデータの見える化や設備を止めないための異常検知等をご紹介しました。



GA700: 簡単自動調整でセッアップコスト削減



エコPMモータフラットタイプ: IE5フラット構造で機械を省エネ&小型化

省エネ&省力化

安川インバータ GA700振動抑制機能のパラメータ自動調整による省力化、エコPMモータ フラットタイプによる機械の小型化、安川インバータ GA500による異常予兆検知、等工場での省エネ&省力化をご紹介しました。

お問い合わせ先: モーションコントロール事業部 ソリューション技術部 推進課 TEL: 04-2962-5470 FAX: 04-2966-0746



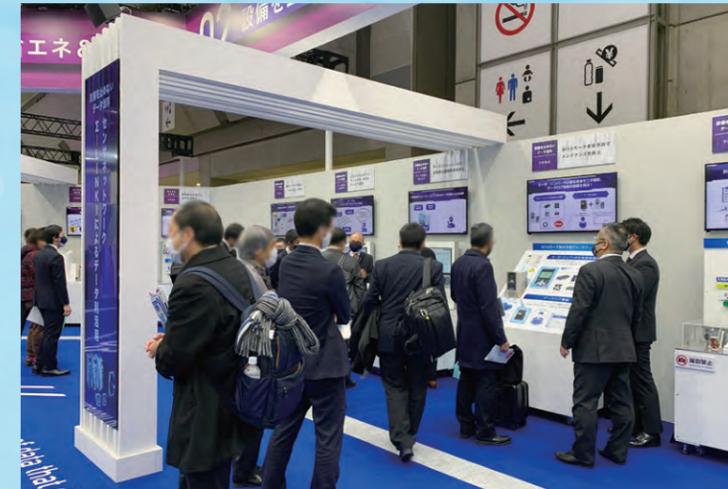
当社の製品・技術情報サイト(e-メカサイト)では今回展示したデモ機の動画を公開しております。是非ご覧ください。

<https://www.e-mechatronics.com/exh/archive/iifes2022/>

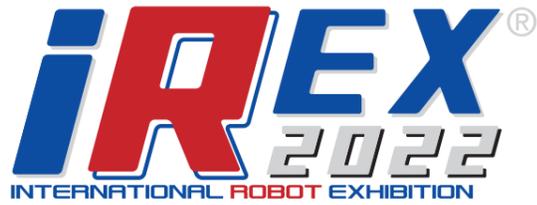
メイン展示 i³-Mechatronicsを具現化した コンセプトデモ機

4つの装置がハード的に統合されることで、データも時間軸が合い、統合されます。これにより、トレーサビリティが確保されるとともに、工程ごとの時間軸があったタイミングで動きにフィードバックできます。

更にこのセルに係わる人に合わせてカスタマイズし、データを提供することで業務の効率化が可能となります。



展示会出展レポート



2022国際ロボット展
 2022年3月9日(水)~12日(土)
 会場/東京ビッグサイト 東1~8ホール
 主催/日本ロボット工業会、日刊工業新聞社
 ホームページ/<https://biz.nikkan.co.jp/eve/irex/>

3月9日(水)~12日(土)に東京ビッグサイトで開催された「2022国際ロボット展」に出展し、当社ブースには9,000名以上のお客様にご来場いただきました。

今回の展示はコロナ禍の中、リアルとオンライン [3月1日(火)~18日(金)] を組み合わせたハイブリッド展示会として開催され、安川電機の共通テーマである「i³-Mechatronicsによるスマートなものづくりの実現」を具現化した、数々の変種変量・工程変化などに対応する自動化ソリューションをご提案しました。

メインステージ&デモンストレーションコーナーでは、「変種変量に対応するi³-Mechatronicsの最新提案」として、ロボットおよび現場の機器がデータに基づき変種変量・工程変化などに自律的に対応するデモンストレーションを行いました。また 新型自律ロボットMOTOMAN-NEXTシリーズ(仮称、参考出品)を初披露。

そのほか、「AI/アプリケーションゾーン」「人協働ロボットゾーン」「スマートシリーズ」など、市場トレンドにマッチした最新のアプリケーション技術等もご紹介しました。



【参考出品】MOTOMAN-NEXTシリーズ(仮称)

メイン展示 変種変量に対する i³-Mechatronicsの最新提案

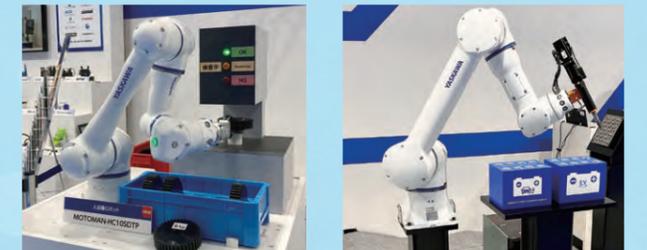
i³-Mechatronicsコンセプトに基づく製品群により、変種変量・工程変化など多様化する生産に柔軟に対応し、お客様の自動化への期待に応えるソリューションをご提案しました。ワークパレットを乗せたAMR*が任意の組立セル1~3を巡り、各セルに配備されているロボットとセル間を移動する自走ロボットにより1つのワークを完成させるデモンストレーションを行いました。



* Autonomous Mobile Robot : 磁気テープ等の誘導体なしに自律的に走行する移動体。

人協働ロボットゾーン

人協働ロボットを使った様々なパッケージ等をご紹介しました。



AI/アプリケーションゾーン

塗装・溶接アプリ、および最新のAI技術を使ったデモ機等をご紹介しました。



● お問い合わせ先：ロボット事業部 事業企画部 営業推進課 TEL: 093-645-7703 FAX: 093-645-7802

展示会出展レポート



2022中部パック

2022年4月20日(水)～23日(土)

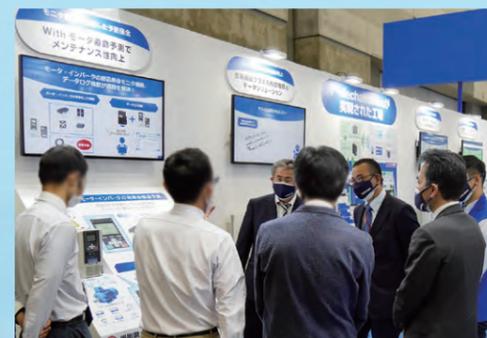
会場/ポートメッセなごや 東1～8ホール

主催/中部包装食品機械工業会

ホームページ/ <https://chubupack.or.jp/>

4月20日(水)～23日(土)にポートメッセなごやで「2022中部パック」が開催されました。当社は「i³-Mechatronicsで新時代の包装・食品ラインを実現」をテーマに、「高可搬人協働ロボットのご提案」「ACサーボドライブΣ-Xのデジタル

データソリューション」「インバータのデータ活用による予防保全」など、包装・食品ラインの自動化に貢献するロボット技術・モーションコントロール技術・インバータ技術をご紹介いたしました。



お問い合わせ先：営業本部 CRM戦略推進室 TEL: 0561-36-3914 FAX: 0561-36-9311

ショートアーム仕様により手元での作業性を強化した人協働ロボット MOTOMAN-HC10SDTPを発売

当社はロボット周囲の安全柵なし^{*1}で人と並んで作業ができる人協働ロボットのラインアップを充実させることで、省スペースでフレキシブルな生産ラインの実現、そしてロボットの活用分野の更なる拡大を図っています。これにより深刻化する労働力不足に対し、自動化、品質の安定化、低コスト化が期待できます。

このたび開発したMOTOMAN-HC10SDTP(可搬質量10kg、リーチ900mm)は、人協働ロボットMOTOMAN-HCシリーズの可搬質量10kgタイプのアームを1200mmから900mmにショートアーム化した機種です。従来機種よりもアームを短くしたことで、手元の作業性が強化されるとともに、人と近い領域で作業できるようになり、設備の省スペース化を実現します。更に、ロボットが旋回する領域の確保が不要なアームスイング動作により、更なる省スペース化のほか、最短距離での搬送や作業時間短縮にも貢献します。

本製品もMOTOMAN-HCシリーズの特長である、高い安全性と初めてロボットを触る方でも簡単に操作できるなどの特長を引き継いでいます。各社ハンドメーカーから人協働ロボット用として販売されている豊富なエンドエフェクターや周辺機器との接続を簡易化しているため、容易にロボット導入が可能です。



MOTOMAN-HC10SDTP



ロボットコントローラ
YRC1000micro(HCシリーズ用)

- 主な用途**
- 自動車・機械関連部品などのハンドリング・組立て
 - 工作機械へのワークの投入(マシンテンディング)
 - 食品のハンドリング^{*3}
 - 薬品・化粧品などのハンドリング

ショートアーム化による 手元作業性の強化

MOTOMAN-HC10SDTPは、アームを900mmと短くすることで、アクセス範囲や作業領域が人に近づき、人との作業置換えが容易になります。人と同じ作業領域に設置しても圧迫感を感じづらいサイズです。また、アームスイング動作によりロボットが旋回する領域の確保が不要で、最短距離での物の搬送が可能です。しかも、従来の可搬質量10kgタイプに比べアーム動作速度が10%向上(当社特定動作パターン比)し、省スペース化および作業時間短縮に貢献します。更に全軸においてIP67^{*2}の防じん・防滴構造を実現し、表面塗装はアクリルウレタン塗装、先端フランジの材質はステンレスを採用することで、衛生面への配慮から水洗が必要な用途での使用も可能です。



周辺機器との簡易接続 (Plug & Play)の実現

ロボット先端のエンドエフェクター取付部は、標準規格「ISO9409-1-50-4-M6」に準拠しており、同規格準拠の豊富なエンドエフェクターや周辺機器など、様々な機器と簡単に接続して動作させることが可能です。また、ロボット内蔵ケーブルとして、ロボット先端へのカメラ搭載などに便利なETHERNETケーブル(Cat.6)やI/O用のケーブル、エアホースを内蔵しており、ロボット外装に配線を無くすることで、周辺機器との干渉を避けることができ、セットアップを容易に行うことが可能です。

- ^{*1} 安全機能により安全柵なしのシステム構築が可能です。全てのケースにおいてリスクアセスメントとリスク低減方策を実施する必要があります。
- ^{*2} IPはIEC(国際電気標準会議)で定められている製品の防じん・防水における保護等級(International Protection Code)を示し、IP67の場合、じんあいは侵入せず、一時的な水没に対して保護できます。
- ^{*3} SIやユーザーで十分なリスクアセスメントを実施したうえで適用してください。

※記事中に記載された名称は、各社の商標または登録商標の場合があります。

● お問い合わせ先：ロボット事業部 事業企画部 営業推進課 TEL: 093-645-7703 FAX: 093-645-7802

最大70%短縮したモータ長で国際高効率規格の最高レベルIE5を達成 エコPMモータ フラットタイプを発売

脱炭素社会の実現が世界共通の目標となる中、環境への配慮は企業にとって重要課題となっています。当社は創業以来100年にわたり培ってきたモータ技術・パワー変換技術を活用した省エネ製品の供給を通じ、お客様の設備の生産性・省エネを飛躍的に向上させ、世の中のCO₂排出削減にチャレンジしています。各国においても政府による環境規制などを受けて、製造業を中心に企業側でも省エネやカーボンニュートラルへの取組みに対する高まりがあります。

そこで当社は、小型化を徹底的に追求したフラット構造にすることにより最大70%の業界最薄*1となるモータ長かつ全容量において世界最高効率であるIE5*2を達成したエコPMモータフラットタイプを3月1日から販売開始しました。

PMモータは回転部分であるロータに永久磁石を埋め込んだ構造により通常の誘導電動機よりも省電力で回転するモータですが、このエコPMモータ フラットタイプは、IE5レベルの高効率クラス達成はもちろんのこと、モータのフラット構造により小型化を実現しました。小型で高機能なインバータと組み合わせることにより、様々なソリューションで更にお客様の機械・設備の省スペース化や消費電力の削減に貢献します。

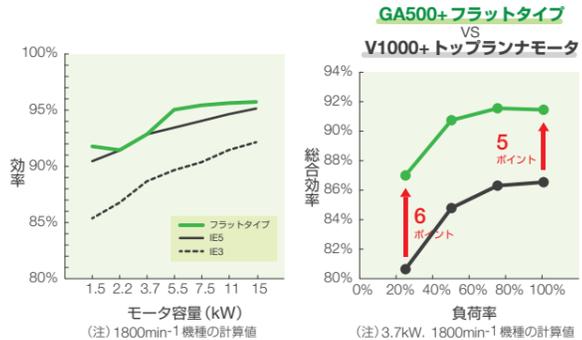


エコPMモータとインバータ

- 主な用途
- ・ビルや工場などの空調設備
 - ・各種ポンプ など

高効率性

全容量において国際高効率規格の最高レベルであるIE5を当社のPMモータとしては初めて達成しました。更に小型高機能インバータGA500と組み合わせることで全負荷においての総合効率が向上します。



業界最薄のフラット構造

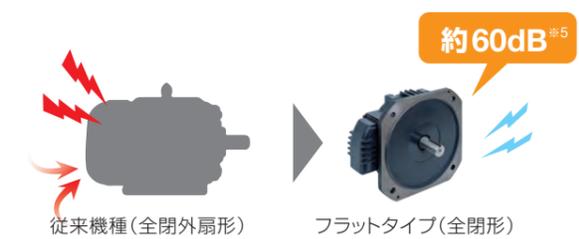
小型化を徹底的に追求したフラット構造にすることにより、最大70%のモータ長短縮と50%の軽量化を実現しました。これによりお客様の設備の省スペース化と軽量化に貢献します。



設備の省スペース化に貢献します。

低騒音

構造設計における熱設計を見直すことにより、全容量で冷却ファンの削除を実現しました。騒音の要因である冷却ファンの風切音がなくなることで騒音レベルを最大5dB低減します。



インバータとの組合せによるソリューションの提供

小型高機能インバータGA500との組合せによるデータ活用で、機械の付加価値向上に貢献します。例えばファンやポンプであればファンの目詰まり検出・ポンプのエアがみ検出などの異常予兆検知が可能となります。またネットワークオプションを活用した遠隔管理にも対応可能です。

- ※1 トップランナモータ比、モータ軸長除く
- ※2 IE5：国際電気標準会議(IEC)が定めるモータのエネルギー効率に関する国際規格。IE5は最も高効率となります。
- ※3 3.7kW、3600min-1時
- ※4 送風機部(モータ7.5kW)の例、誘導電動機設置との比較値

壁面装飾と「技術立社」「尚友」の書を展示 本社棟4階エレベーターホールをリニューアル

2021年9月、安川電機本社(北九州市八幡西区)内にある「安川テクノロジーセンタ(YTC)」の本格稼働開始に合わせ、本社棟の内部を全面的に改装いたしました。

中でも大きくリニューアルした4階のエレベーターホールをご紹介します。

「原動力は北九州。動かすのは世界。」 壁面装飾

エレベーターの正面は、「原動力は北九州。動かすのは世界。」のキャッチコピーを使用した天井まで届く巨大な壁面装飾となっています。文字は従業員から募集した習字を使っており、訪れたお客様に変化を楽しんでもらえるよう、半期に一度のペースでデザインを変えることとしています。

「原動力は北九州。動かすのは世界。」のキャッチコピーは2011年に制作したもので、「創業の地・北九州から全世界に対してビジネス展開していく」という当社の力強いメッセージが込められています。このキャッチコピーを使用した企業広告を、北九州市の玄関口である北九州空港、JR小倉駅、そして本社最寄りのJR黒崎駅にランドマーク広告として掲出しています。

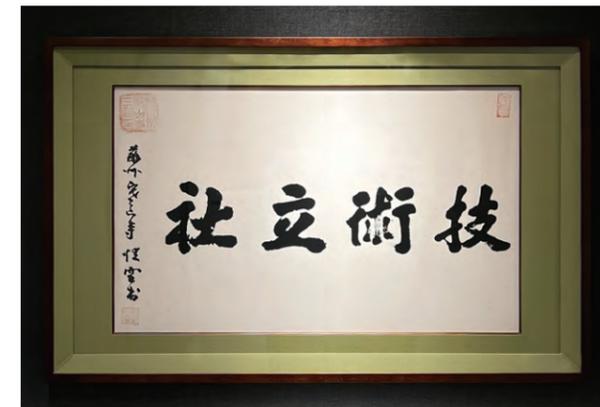


「技術立社」「尚友」の書

本社棟から安川テクノロジーセンタへ続く連絡通路の手前には、「技術立社」と「尚友」の2つの書が掲出されています。

「技術立社」は1996年に当社第6代社長 橋本伸一が社長就任時に掲げた方針の中で最上位とした言葉です。この書は、1998年に訪中した際に、中国蘇州の寒山寺の住職に依頼して書いていただいたものです。この言葉には、「世界水準にある技術を駆使し、お客様のニーズに応える製品を提供する。そのためには、技術開発への強いこだわりと愛情が不可欠である」という思いが込められています。

「尚友」の書は当社創立発起人 安川敬一郎自身が揮毫したもので、自身が設立した私立明治専門学校(現 国立大学法人九州工業大学)の第一期生に贈ったものです。「尚友」の書は「至誠」の書と二幅で一對になっており、ともに九州工業大学で保管されてきました。2021年、安川テクノロジーセンタ開設にあたり、九州工業大学から寄贈されました。安川電機と九州工業大学で一對の書をそれぞれ持ち合うことで、友情の証としています。



高信頼性のモーション制御を実現するMECHATROLINKを世界に普及 MECHATROLINK協会の活動紹介

IIFES2022 出展報告

MECHATROLINK協会は、1月26日(水)~28日(金)の3日間、東京ビッグサイトに開催された「IIFES2022」に出展しました。「オープンフィールドネットワークの進化で現場革新」をテーマに、ブースでは最新の実機デモ機の展示や、大型モニターを使ったステージでのプレゼンテーションを実施し、ネットワーク技術の



IIFES2022
MECHATROLINK協会ブース
<https://youtu.be/z4VZrqiH1vl>



特長やメリットをご紹介しました。

また、安川電機を含む8社のメンバー企業が協賛としてブースに出展し、MECHATROLINK対応製品の紹介を行いました。

ブースおよびデモ機の紹介動画をご用意しましたので、是非ご覧ください。



デモ機による新技術紹介
(MECHATROLINK-4、Σ-LINK II)
<https://youtu.be/95aiNivCkss>



MECHATROLINK協会 2022年度総会開催のご案内



下記要領にて2022年度の総会/講演会を開催いたします。

日時 2022年6月6日(月) 14:00~16:10

開催方法 オンライン開催(Zoom)

参加資格 MECHATROLINK協会会員

参加費 無料

申込方法 MECHATROLINK協会ウェブサイト
<http://www.mechatrolink.org/jp>

申込期日 2022年6月1日(水)まで
※事前登録制



● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 事業企画部 事業パートナー拡大推進課 TEL: 04-2962-6359 FAX: 04-2966-0746

3年ぶりに東京で開催、アジア最大級の国際食品工業展 「FOOMA JAPAN 2022」出展案内

食品機械の最先端テクノロジー、製品、サービスが一堂に会する展示会「FOOMA JAPAN2022(国際食品工業展)」が6月7日(火)~10日(金)の4日間、東京ビッグサイトで開催されます。

当社は「食の自動化のそばに。— 安川グループと歩む食づくりの未来 —」をテーマに出展いたします。当社ブースでは、安川グループの最新技術を結集した食品製造の自動化に貢献する様々な製品・ソリューションをご紹介いたします。メイン展示

では、当社、(株)FAMS、(株)アイキューブデジタルの3社が協力し、「AI×ロボットによる次世代の食づくりの実演デモ」を行います。

会期中は、感染防止対策を徹底したうえで展示や実演を行います。また、遠方でご来場が難しい方や外出を控えたい方に向けて、オンライン展示会も同時に開催いたします。この機会に是非、当社展示をご覧ください。

食の自動化のそばに。 安川グループと歩む食づくりの未来

展示会期間中はオンライン展示会を同時開催! たいまプレオープン中!
FOOMA JAPAN 2022
安川電機のオンライン展示会はこちら!



安川電機の製品・技術情報サイト「e-メカサイト」 www.e-mechatronics.com

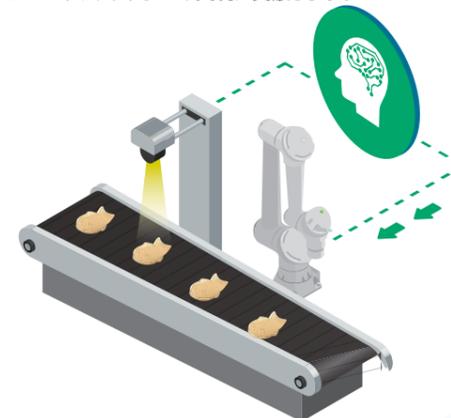
メイン展示 AI×ロボット による次世代の食づくり

安川グループだからできる次世代の食づくりのカタチをご提案。

●異物検査+除去アプリケーション

AIが異物や不良品を検知。
ロボットが異物や不良品を除去します。

更に、検査結果を蓄積し統計化が可能。
データを分析し、各工程へフィードバックすることで生産ラインを改善。
スマートファクトリーの実現に貢献します。



出展製品 安全性や衛生面へ配慮した人協働ロボット

サニタリー性を向上し安全・安心に導入が可能。
簡単移設が可能で、レイアウト変更に
フレキシブルに対応できます。



サニタリー性向上

簡単移設

予防保全で止まらない設備を実現

運転データから「いつもと違う」を検知。
突発的な故障の予防や、
適切なメンテナンス計画立案を実現します。



ACサーボドライブ Σ-X



安川インバータ GA700・GA500

安川グループで
「i³-Mechatronics」を
実現します。

Food & Agriのお客様へ
メカトロニクスで創造した
業界初のソリューションを提供



生産現場の自動化・最適化を実現する
デジタルシステムインテグレータ

● お問い合わせ先：営業本部 食品農業営業部 TEL: 03-5402-4579 FAX: 03-5402-4581

中部地区初開催、産業用ロボット・自動化システムの専門展 「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022」出展案内

今回が初開催の「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN」は、産業用ロボットと自動化システムの専門展で、製造業など産業集積地である中部地区で開催される国内最大級のBtoB展示会です。出展対象は製造現場や物流拠点で使用される産業用ロボットや産業用ロボットを組み込んだ装置・機器、AGVなどの無人搬送を利用した自動化システムに特化しています。

当社は「i³-Mechatronicsによるスマートなものづくりの実現～変種変量・工程変化など多様化する生産に柔軟に対応する自動化提案～」をテーマに、i³-Mechatronicsに基づいた新たな自動化ソリューションをご紹介します。



● お問い合わせ先：ロボット事業部 事業企画部 営業推進課 TEL: 093-645-7703 FAX: 093-645-7802

主な展示品 (予定)

- 変種変量生産を実現する自律的なタスク制御
- 装置とロボットが融合したセルのDX化ソリューション
- 次世代ロボット
- Alliom(AIバーチャル学習アプリ)

会 期 2022年6月30日(木)～7月2日(土)
10:00～17:00
会 場 愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo) B, C, Dホール
主 催 者 株式会社 ニュースダイジェスト社
U R L <https://robot-technology.jp>

国内最大の溶接・接合、切断技術専門展示会 「2022国際ウエルディングショー」出展案内

国際ウエルディングショーは、溶接・接合技術ならびに関連分野における最新の製品と先端溶接加工システム技術を一堂に結集し、商取引や技術習得、内外交流の場として活用する国内最大の溶接・接合、切断技術専門展示会です。

当社は「i³-Mechatronicsによるスマートなものづくりの実現～多様化する接合ニーズに対応するYASKAWAの接合ソリューション～」をテーマに出展いたします。アークやスポットなどの従来の接合技術にレーザーを加え、更に人協働ロボットの接合アプリケーション対応など様々な溶接・接合ニーズへの対応をご紹介します。

更に、i³-Mechatronicsコンセプトを基にしたデータ活用による高品質、高効率なソリューションとその発展性により、お客様へのより高い価値の提供についてもご紹介します。

主な展示品 (予定)

- アルミ材の高品質・高生産アーク溶接のご提案
- AI活用によるスポット溶接システム立上から保全までの自動化
- 高品質・高生産レーザー溶接のご提案
- 人協働ロボット+手溶接

会 期 2022年7月13日(水)～16日(土)
10:00～17:00(最終日は16:00まで)
会 場 東京ビッグサイト 東展示棟
主 催 者 一般社団法人 日本溶接協会
産報出版株式会社
U R L <https://weldingshow.jp/2022/>



日本から世界へ 溶接・接合、切断のDX革命

2022 国際ウエルディングショー

● お問い合わせ先：ロボット事業部 事業企画部 営業推進課 TEL: 093-645-7703 FAX: 093-645-7802



2022年度陸上部新体制と目標

陸上部のメンバー紹介や大会結果、スケジュールなど詳しい情報は陸上部公式サイトでご確認ください。
<https://sports.yaskawa.co.jp/track-field/>



今年度は新たに1名の新人、合田椋選手(拓殖大学出身)が加わりました。

また、中本健太郎コーチがヘッドコーチ、大畑和真選手を主将とする新体制で2022年シーズンがスタートしました。

昨年度は、チームの目標であるニューイヤー駅伝入賞に遠く及ばず不甲斐ない成績となりました。立て直しを図るべく、これまでのチーム理念である「草魂」(過去の実績や栄光におごる

ことなく、また、失敗や挫折を恐れることなく、常にチャレンジ精神を忘れず真摯に競技に向き合おう)に新たな考え「主体性」(自ら考え行動する)を取り入れています。それによって、個々・チームのレベルアップを図り、ニューイヤー駅伝入賞につなげていきたいと考えています。

今年度も、選手、スタッフ一丸となり努力・精進してまいりますので、引き続き皆様のご声援をよろしくお願いたします。



写真左上から 山瀬大成選手、山口晟弥選手、加藤風磨選手、古賀淳紫選手、合田椋選手(新入部員)、グルム ワルテ ツファ選手、江口大雅選手、北島寿典選手、新郷幸聖選手、大畑和真選手(主将)、岡田浩平選手、鈴木雄太選手

合田椋選手(新入部員)



選手コメント

大畑 和真(主将)

今年度より、安川電機陸上部の主将を務めることになりました。今年のチームは、凄くポジティブで前向きな、若手に活気のあるチームです。ここ数年、ニューイヤー駅伝の入賞から遠ざかっていますが、お正月には、皆様が熱くなれる、ワクワクするような走りをお届けしたいと思います。チームとして7年ぶりのニューイヤー駅伝入賞を目指して頑張ります。応援よろしくお願いたします。



自動化、もっと手軽に始めよう。 人協働ロボットで、課題を解決!

自動化の課題解決は私たちにお任せください!
防じん・防滴仕様や食品仕様、
ハンドキャリアタイプなど多彩なラインアップを準備。
製造工程の様々な作業に対し、豊富な実績とノウハウで、
皆さまの製造現場に合った自動化ソリューションをご提案します!

豊富なラインアップで、あなたの現場をしっかりサポート!



MOTOMAN-HC10DTP
(防じん・防滴仕様)



MOTOMAN-HC10SDTP
(防じん・防滴仕様)



MOTOMAN-HC10DTP
ハンドキャリアタイプ



MOTOMAN-HC10DTP
(食品仕様)



MOTOMAN-HC20DTP
(防じん・防滴仕様)



MOTOMAN-HC20SDTP
(防じん・防滴仕様)

導入後のビフォアサービス、アフターサービスも充実

- 安心のグローバルサービス網でお客様の課題を解決いたします!
- 24時間365日対応のYASKAWAコンタクトセンターで購入後も安心!

人協働ロボットスペシャルサイト公開中!

安川電機の製品・技術情報サイト“e-メカサイト”では、資料請求は今すぐサイトをチェック▶
人協働ロボットのスペシャルサイトを公開中です。 <https://www.e-mechatronics.com/>



■ 各種機能を動画でご紹介 ■ 適用事例を順次拡充中 ■ すぐにつながる他社製周辺機器を公開

初めてロボットを使用する人に
最適な「スマートモード」搭載。
スマートペンダントがあれば
誰でも簡単に操作が可能です。



- 10.1インチ大画面タッチスクリーン
- 直感的な操作が可能なスマートモード搭載
- 初心者向けのガイダンス・ヘルプ機能搭載

株式会社 安川電機

営業本部 イノベーション営業部 〒105-6891 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー8階
TEL (03)5402-4559 FAX (03)5402-4581【オフィシャルサイト】<http://www.yaskawa.co.jp>

